

ひとくち法話

ほうりんほうじゅ

宝林宝樹

(46)

「アンパンマン」に聞く

「何のために生まれて何をして生きるのか答えられないなんてそんなのはイヤだ」

「何が君のしあわせ何をしてよろこぶわからないまま終わるそんなのはイヤだ」

「アンパンマンのマーチ」より、真宗という仏道に託された大切な願いについて尋ねて参りたいと思います。

「私は何のために生まれて、生きているの」「何が僕の幸せ、何をして喜んだらいいの」と子供さんやお孫さんに聞かれたら、どのように答えられるでしょうか。

人間にとって、何者にも代え難い、そんなのっぴきならない問い掛けに、逃げることなく、真正面から受け止めて答えられる大人になりたいものです。

宗祖親鸞聖人ならば「勝った負けたの世界に死んで、如来の本願の真実に生きるんだ」と仰るに違いありません。

そこにこそ「この私が、この私に生まれて来て良かった」という私が恵まれて来るのではないのでしょうか。

そうか、そのほとばしるような願いに生きる、そのこと一つを實現するために、この私は人間に生まれて来たのでした。

